

水道事業会計[上下水道課 所管]

1. 概 要

令和7年度の業務の状況は、給水人口 43,053 人、給水量は前年度に比べ 0.5% 増の 5,261,389 m³を供給し、1 日平均給水量は 14,415 m³であった。

令和7年度末現在の住民基本台帳人口 51,534 人に対する水道普及率は、83.5%で前年度より変わりなかった。

業務給水量については、給水量が前年度比 0.5% 増であり 1 人あたりの水道水使用量(原単位)の増加によるものである。有収水量は 0.5% 増となり、有収率は前年度比 0.1% 増の 88.4%であった。

給水戸数は 171 戸の増加であったが、給水人口は 292 人の減少となった。今後給水人口はさらに減少する見込みであるが、施設の老朽化もあり、安定的な給水のため、需要に応じた管網及び施設整備をさらに進めていかなければならない。

収益的収入及び支出については、事業収益総額は 1,255,997,248 円で、うち給水収益は一般会計からの補助金による水道基本料金等減免事業の実施に伴い、前年度比 13.6% 減の 884,204,612 円となったが、事業費総額は、前年度比 0.2% 増の 1,095,815,044 円となった。

経常利益は、159,496,910 円となり、これに特別利益の 685,294 円を加えた当年度純利益は、前年度比 24.9% 増の 160,182,204 円(前年度純利益 128,205,156 円)となった。

資本的収入及び支出については、資本的支出総額が 430,948,252 円となり、資本的収入額が資本的支出額に不足する額 425,943,252 円は、過年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 16,592,616 円、建設改良積立金 20,000,000 円、過年度分損益勘定留保資金 135,037,542 円、当年度分損益勘定留保資金 254,313,094 円で補てんした。建設改良事業については、既存消火栓の老朽化に伴い 6 基の更新工事を行った。また、今後の濁水及び水質管理対策として、配水管・配水小管内の排水のための排泥弁及び仕切弁を 48 基設置した。

配水管・配水小管整備については、市街地を中心に道路改良工事等に伴い、延長 1,809.9mの配水管・配水小管の布設工事を行った。

なお、今後の水道事業については、人口減少による事業収入の減少や老朽化水道施設の更新に伴う支出増が見込まれるなかで、県が推進する広域連携に参加し水道事業の経営改善(コストの縮減と収入の確保)が必要不可欠である。

※概要内の金額は、全て税抜となっています。

2. 収益の収入及び支出

(収 入)

(単位:円・税込)

区 分	決 算 額
第1款 水道事業収益	1,353,705,551
第1項 営業収益	1,025,583,355
第2項 営業外収益	327,436,902
第3項 特別利益	685,294

(支 出)

(単位:円・税込)

区 分	決 算 額
第1款 水道事業費	1,175,318,019
第1項 営業費用	1,117,700,668
第2項 営業外費用	57,617,351
第3項 予備費	0

3. 資本の収入及び支出

(収 入)

(単位:円・税込)

区 分	決 算 額
第1款 資本の収入	5,005,000
第1項 工事負担金	0
第2項 負担金	5,005,000

(支 出)

(単位:円・税込)

区 分	決 算 額
第1款 資本の支出	430,948,252
第1項 建設改良費	249,190,455
第2項 企業債償還金	181,757,797
第3項 予備費	0

4. 業務の状況

事 項		令和7年度	令和 6 年度	比 較	
				増 減	増減率
年度末	給水人口	43,053 人	43,345 人	△292 人	△0.7%
〃	給水戸数	18,801 戸	18,630 戸	171 戸	0.9%
年 間	給水量	5,261,389 m ³	5,235,334 m ³	26,055 m ³	0.5%
〃	一日平均給水量	14,415 m ³	14,343 m ³	72 m ³	0.5%
〃	有収水量	4,649,345 m ³	4,624,746 m ³	24,599 m ³	0.5%
〃	一日平均有収水量	12,738 m ³	12,671 m ³	67 m ³	0.5%
〃	有収率	88.4%	88.3%	0.1%	0.1%